

製品名: UHRF1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe01450**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | 組換えウサギモノクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IP |
| 反応性 | 人間 |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。 |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:1000,IP 1:20-1:50 |
| 分子量 | Calculated MW: 90 kDa; Observed MW: 97 kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|-----------------------------|
| 遺伝子名 | UHRF1 |
| 別名 | Np95; hNP95; ICBP90; RNF106 |
| 遺伝子 ID | 29128 |
| SwissProt ID | Q96T88 |
| 免疫原 | ヒト UHRF1 の組み換えタンパク質 |

背景

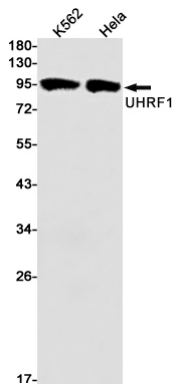
この遺伝子は、RING フィンガー型 E3 ユビキチンリガーゼのサブファミリーに属するタンパク質をコードしています。このタンパク

質は特定の DNA 配列に結合し、ヒストン脱アセチル化酵素をリクルートすることで遺伝子発現を制御します。発現は細胞周期の G1 期後期にピークに達し、G2 期および M 期を通して持続します。トポイソメラーゼ II α および網膜芽細胞腫遺伝子の発現を制御することで G1/S 期移行に主要な役割を果たし、p53 依存性 DNA 損傷チェックポイントにおいても機能します。エピジェネティック情報の統合におけるハブタンパク質と考えられています。この遺伝子は様々な癌で発現が亢進していることから、治療標的となると考えられています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが見つっています。関連する疑似遺伝子が 12 番染色体上に存在する。

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



UHRF1 抗体を使用した K562、Hela 溶解物中の UHRF1 のウエスタン ブロット分析。